



	11月1日現在	前月比
男	14,515	- 7
女	14,749	- 5
計	29,264	-12
世帯数	6,786	+ 2



柿

今、町内の柿栽培農家では、富有柿の収穫におわれています。枝もたわわに実をつけた柿を、ひとつひとついねいに収穫してい

ます。

また、小幡・芦穂・瓦会地区などでは、もぎ取りや直売などの観光果樹も盛んに行われ、日曜日ともなると家族づれなどでにぎわっています。

写真は、収穫に忙しい大字宮ヶ崎の田口恒男さんの柿園で。

主 な 内 容

○手が育てる情緒や人間性……………2～3P

○菊地四郎顕彰式……………2P
○農業者年金制度が来年4月から改正……………4P
○社教のひろば……………5P

よい母に須釜の久保田さん



久保田さん

よい子、よい母、よい勤労青少年、善行者などを顕彰する菊地四郎顕彰式を、ことしも文化の日の十一月三日、中央公民館で行いました。ことしの受賞者は、大字須

釜の久保田さくさん（72歳）で、よい母として表彰となったものです。

久保田さんは、戦後の混乱期の昭和二十三年にご主人を亡くされ、六歳と八カ月の二人の子供と、夫の妹二人の五人家族となりました。女手一つとなり窮地に立たされましたが、家族のために一生懸命働き、夫の妹二人を嫁がせ、

二人の子供も立派に成人させました。この間、集落のつきあいなども普通の家庭と同じに行い、頑張つてこられました。現在は、長男夫婦と一人の内孫とともに、一家仲睦まじく暮らしておられます。

◇ ◇ ◇

町では、来年も、逆境にも負けずに頑張つておられるよい子やよい母、よい勤労青少年、奉仕活動などを行つてい

林道団子石線の舗装が完了

当町の瓦谷両桁山寺地内と、岩間町の上郷地内を結ぶ、延長約六キロメートルの峰越連絡林道団子石線の舗装工事が完了し、十月三十日、両町の境界付近でテープカット（写真）が行われました。

団子石線は、林業構造改善事業の一環として、昭和四十九年度から開設工事、昭和五十八年度から舗装工事を進めていたものです。



当町側の延長は約三・三キロメートルで、事業費は二億六百万一千円でした。

リンゴの皮がむけるかな

や人間性

日本人は元来手先が器用でした。その器用さがはしやそろばん、折り紙、お手玉などの日本独特の「手の文化」を生みだしました。

しかし、最近ナイフでリンゴの皮がむけない、はしの正しい使い方ができないといった手先の不器用な子どもが増えていきます。「リンゴの皮がむけなくても、小刀で鉛筆が削れなくても、日常生活に支障がないのだから、いいじゃないの」とお考えのお母さんもうらつしやることでしよう。

ところが、人間の手をつかさどっているのは、じつは大脳の中樞神経なのです。人間の体は、使わないでいると退化してしまうといわれています。骨折をして治療のため安静にしていると、折れた部分がやせ細ってしまします。これを廃用性萎縮といっていますが、これは脳の神経細胞にもいえるのです。とすれば、手を使わないでいると、大脳の発達が鈍くなり、ひいては人間としての知性や情緒が低下するおそれが考えられるのです。

失われつつある

手を動かす遊び

家事の手伝いをしないのが当然のようになってしまった子どもたちは、だんだんと手先を使う作業がおっくうになってしまします。ましてや、昔なつかしいメンコ、おはじき、お手玉、あやとりなど、手先を使って自分で工夫する遊びをあまりしなくなった現代の子どもの世界には、手を鍛練する機会が少なくなりつつあります。ピアノや絵や書道を習わせるといふこと

日常生活の中で

手を使わせよう

ぞうきんがけはとても手先

もありますが、それよりも大切なことは、ふだんの生活の中で、できるだけ子どもたちに手を使わせることです。というのも、大脳の微細構造は、三歳ではほとんど成人のそれに等しくなり、十歳前後では、大脳の重さも大人の九〇パーセントを超えるようになるからです。まずは家事の手伝いなどから始めるのがいいでしょう。



手が育てる情緒

を使います。そして食事の後片づけをさせるのもいいでしょう。

「きょうは自分のお皿を洗ってね」と、皿の一枚や二枚割られる覚悟でやらせれば、子どもは喜んでやるものです。生卵をつまぐ割れないという子どもが多いのも、大人がやらせないからです。たいていの子どもは、生卵を割ることにとても興味を持っています。台所を少々汚されても、時には心を寛大にしてやらせてください。

不器用な子どもが増えています

子どもたちの手先の器用さが失われつつあるといわれていますが、実態はどうなのでしょう。

文部省が行った「児童の日常生活に関する調査」をご紹介します。

コンロの皮をむくことは

「うまくむいている」「まあまあうまくむいている」児童は、全体の三〇パーセントですが、「むき方が適切である（ナイフの刃先を手前に向け、親指で刃を押さえコントロールしながらむく）」児童に限

独立心を育てる効用も

朝起きて、バジャマを着替えるときも、すぐに手伝ってしまふのは考えものです。多少の時間はかかっても、ボタンをひとつひとつ止めることで、子どもは手先を働かせ、何よりも「自分でできるのだ」という自己認識を、手を介して実感するのです。そして、それがやがて独立心へとつながっていく大切な芽を育てることにもなるのです。

ると、二二パーセントという結果です。

つまり三人のうち二人は、まったくむくことができないか、できても手元がごちゃなく危なっかしいということになります。

ぬれタオルを絞ることは

「かたく絞れている」「だいたい絞れている」児童は、九五・四パーセントですが「絞りが適切である（タオルを自分に垂直にし、片手を逆手にしてねじる）」児童に限ると、五一・四パーセントと、

「リンゴの皮むき」実技調査の結果

動作の円滑さ 皮のむき方	刃先を手前に向け親指で刃を押さえナイフをうまくコントロールしながらむいている	刃先は手前を向いているが親指で刃先を押さえしていない	刃先を自分とは反対のほうを向け、ナイフを押し出すようにむいている	左のいずれとも異なるむき方をしている	計
うまくむいている	11 %	2 %	— %	— %	13 %
まあまあうまくむいている	11	4	1	1	17
ぎごちないがどうにかむいている	4	17	28	3	52
ほとんど進まない	1	3	13	2	18
計	27	26	41	6	100

文部省「児童の日常生活に関する調査結果」より。調査対象：小学3年生181名(小数点以下四捨五入のため小計が一致しないものあり)

約半分の子どもしかできないということになります。
このほか、実技調査の結果が良好であったものをあげると、「はさみで紙を丸く切りぬく」(七二・四パーセント)「小刀で鉛筆を削る(六〇・一パーセント)」「はしを正しくもつ」(四五パーセント)という結果が出ています。

農業者年金制度が 来年4月から改正

農業者年金制度が、来年四月から改正されます。

農業者年金制度は、農業経営の近代化と農業者の豊かな老後の生活を目的とした制度です。しかし、今日の高齢化社会を乗り越えるため、現在年金制度全体の見直しが必要とされています。国民年金や厚生年金などの年金制度でも、来年四月から新しくこれらの年金を一緒にした、基礎年金制度がスタートします。

農業者年金制度においても、制度見直しのため、今回の改正となりました。

給付水準が引き下げに

農業者年金の給付には、経営移譲年金と農業者老齢年金、死亡一時金の給付などがありますが、経営移譲年金と農業者老齢年金の給付水準が、二十年かけて段階的に引き下げられます。

しかし、今回の改正により物価スライドが完全実施されますので、物価が上がると年金額も引き上げられます。

なお、経営移譲年金は、農業経営を後継者などに譲った場合に六十歳から、農業者老齢年金は、経営を移譲するしないにかかわらず六十五歳から支給される年金です。

経営移譲年金額に格差

特定譲受者以外の人に経営移譲した場合には、年金額に一定の差が設けられることとなります。つまり、農業者年金に加入していないサラリーマン等に経営移譲した場合に、来年四月一日現在五十九歳の人から、各年齢ごとに五

パーセントずつ引き下げられ、五年後に六十歳に到達する人からは、二五パーセントの格差が設けられます。

老齢年金の前日

加入要件が廃止

経営移譲できなかった人が老齢年金の給付を受ける場合は、「六十歳に達した日の前日に農業者年金加入者でなければならぬ」ということでしたが、改正後は六十歳に達した前日まで農業を継続していればよいこととなります。したがって、二十年間保険料を納付した後、会社などに入り厚生年金に加入した場合でも、六十歳の前日まで農業を営んでいれば、老齢年金が支給されます。

60歳～65歳までの任意加入制度を新設

現行では、加入期間が六十歳に達するまでに二十年間に満たない人は、加入できないことになっていました。しかし、今回の改正で、二十年間に不足する期間を六十歳から六十五歳までの間、任意加入できることとなります。

なお、経営移譲年金の受給は、二十年間保険料を納めた

後となり、いずれの場合も受給は六十五歳までです。

死亡一時金の支給対象拡大

現行では、すでに経営移譲年金の支給を受けていた人が死亡した場合は、死亡一時金は支給されませんでした。改正後は、保険料の納付期間

【参考】

15年間保険料を納付した人が、経営移譲年金を15万円しかもらわずに死亡した場合

15年間に相当する死亡一時金の額	受給済みの経営移譲年金合計額	死亡一時金支給される額
42万円	15万円	27万円

に応じた死亡一時金と、すでに経営移譲年金として受給した額の差額が、死亡一時金として支給されます。

保険料は62年一月から引き上げに

保険料は、昭和六十二年一月から月額八千円となり、それ以降六十六年まで毎年八百円ずつ段階的に引き上げられます。

このほか、支給停止要件の緩和措置がとられるほか、経営移譲年金の国庫補助がさらに引き上げられるなどの改正が行われます。

詳しくは、役場内農業委員会、または各農業協同組合へお問い合わせください。

農業者年金の説明会、650名が参加

町農業委員会では、十月二十九日、中央公民館を会場に農業者年金の説明会を行いました。

説明者に県農業会議次長飯島茂氏を迎え、午前中は受給者を対象に、午後からは受給予定者を対象に行い、午前、午後を合わせて約六百五十名が説明を受けました。





社教のひろば

関東の名山といわれる筑波山の美化大会が、十月二十日(日)に行われました。

今年で二十一回を数える伝統ある大会は、秋晴れの下、八郷(五百名)、筑波(八百名)、真壁(四百名)、その他一般(一千名)併せて二千七百名が参加しました。

町の参加者は、朝早くから各地区、各団体がそれぞれにバスやマイカーに分乗、午前九時三十分につつじヶ丘駐車

筑波山美化大会

町からは500名がゴミ拾い

場に集合し、町の大会を開催しました。

大会終了後、さっそくそれぞれに軍手をはめ、ゴミ袋を持ち、つつじヶ丘から山頂までの空カンやゴミ拾いを開始しました。出発したときは、秋風が冷たくセーターやジャンパーを着込んでいた皆さんも、途中から暖かさが増して、上着を脱いでゴミ拾いに精を出していました。頂上に到着したときは、ビニール袋は空カンやゴミでいっぱいになりました。

波山をきれいにする運動にふさわしい盛り上がりの中に、全体大会に入りました。

全体大会では、町のライオンズクラブ代表が開会のあいさつを、参加団体の紹介を小幡小学校の緑を守る少年隊の代表が、また町青年団長が美化宣言を行い、それぞれ盛大な拍手を受けました。

筑波山は、古代から一般に広く知られ、ふるさとの誇り、いわば県民共有の天から授かった宝ともいえるでしょう。しかし、残念ながら近年の山

筑波、真壁町の参加者も、それぞれの登山道からゴミをい

っぱい詰めて山頂に集まり、筑



公民館まつり

を開催

第三回公民館まつりを、十二月八日(日)午前九時から中央公民館で行います。

日ごろ、公民館を利用している方はもちろん、あまり来館の機会のない方も、この機会にぜひご来館ください。

内容は次のとおりです。

○公民館講座作品展示

○バザーと製作実演

七宝焼、袋もの、籐工芸、革工芸、手編み、陶芸

○映画鑑賞

「イーハトーブの赤い屋根」

○小・中学校代表校及び消防音楽隊による演奏会

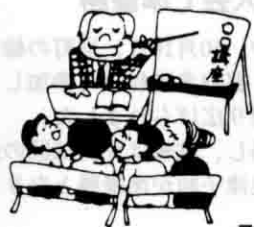
○小・中学校ポスター展

「環境美化」

東の名山にふさわしい筑波山を取り戻すため、今回の美化大会を契機として、それぞれの立場で自然愛護運動を進めていきたいと思います。

紙上講座

子どもの教育⑦



青年期と父親

思春期から成人までの間を青年期と呼び、その特徴として心理的離乳というものがあります。

青年は、心理的離乳によって親に置いていた心のよりどころを自分の中に移していきます。経済的には依存しながらも精神面での独立を望み、青年期の反抗は、それを達成しようとする真剣な試みでもあるわけです。

また、青年期の親子関係、特に父親と息子の間には、ある程度のよそよそしさが生じてきます。このことも青年が親からの独立を示すもので、必ずしも親の存在を否定したものではありません。親から離れ、人間的経験を積むことによって親を理解し、親も子どもの成長を認めながら、明るい人間関係をつくりたいものです。

しかし、現在の家庭において、父親と子どもの共通した生活の場が少なくなり、父親と子どもの間を対話だけによって埋めるのは困難です。

父親の真剣な生き方を示すと同時に、子どもの生き方に信頼と愛情をもつて見守りたいものです。

—指導・近藤修派遣社教主事—



郡クロッケー大会で準優勝

新治郡クロッケー大会が、10月16日、当町の総合運動公園を会場に開かれ、郡内各町村から参加した24チームにより、熱戦が繰り広げられました。

町からは4チームが出場し、成績は片岡地区の飯田利雄・萩原一二・鈴木美津子組が準優勝となりました。

NTT児童画作品展 に町から3人が入選

NTT石岡電報電話局では、管内の小学生を対象に「ぼくと私の未来の電話」と題した児童画を募集しました。

科学万博開催中だったためか、応募作品の「未来の電話」も楽しく夢のあるものばかりで、約四千点の応募がありました。その中から十八点が入選。町からも、瓦会小一年真家裕美さん、東成井小一年菱沼匡之君、柿岡小二年中沢勇介君の三人が入選しました。なお、NTT石岡電報電話

局では、無料で「お年寄りむけ電話教室」を実施しています。お年寄りを対象としたこの教室は、「おつきあいの電話術」のスライドやいろいろな福祉電話も用意してあります。老人会などの会合に、ぜひご利用ください。いつでもどこでもお伺いします。ので、お気軽にお申し込みください。お問い合わせ、お申し込みは、NTT石岡電報電話局（☎〇二九九二一四一〇〇〇〇無料）へ。

梨品評会

八郷町梨組合連合会青年部果実品評会が、去る八月三十一日、役場庁舎前で行われました。また、九月二十一日には、八郷町梨組合連合会果実品評会が中央公民館で行われました。入賞は次の方々です。

◎連合会青年部果実品評会
特賞鈴木政一（園部梨業組合）、一等斎藤日出樹（同）

◎連合会果実品評会
特賞小幡梨選果場、一等中央梨選果場

柿中生徒がゴミ拾い

10月23日、柿岡中学校では、ゆとりの時間を活用した奉仕作業として、全校生徒が、柿岡商店街周辺のゴミ拾いを行いました。

この奉仕作業は、自分たちの住んでいる町を、自分たちの手できれいにすることで、郷土を愛する心を養おうと、生徒会が中心となって行ったものです。



帽子をかぶった はちの巣



柿岡北町の佐々木明さん宅に、帽子をかぶり、いすに腰をかけたためずらしい形の「すずめばち」の巣が一目見えし、訪れた人々を驚かせています。

このはちの巣、昨年の春ごろから、佐々木さん宅の庭に出しておいたすに巣をかけ始め、上に置いてあった麦わら帽子を持ち上げるような格好で、だんだん大きくなっていったそうです。

小桜小子ども郵便局が 県知事表彰に

小桜小学校子ども郵便局が、このほど優良子ども銀行として、県知事及び県貯蓄推進委員会会長表彰を受賞しました。

子ども銀行は、子どもたちに小さなことから無駄のないお金の使い方や、貯蓄の習慣を身につけさせようというものです。小桜小学校子ども郵便局は、活発な活動が認められ、今回の受賞となったものです。

各種球技大会

十月十三日、町軟式庭球連盟秋季大会が総合運動公園テニスコートで、萩原杯バレーボール大会が農業者トレーニンングセンターと八郷高校体育館で開かれました。また、町

民卓球大会が、十月二十日、農業者トレーニンングセンターで開かれました。各大会での優勝者は、次のとおりです。

◎町軟式庭球連盟秋季大会
▼男子の部 星孝行、滝田欣三組 ▼女子の部 小野瀬和子・諸星和枝組

◎第11回萩原杯バレーボール

投稿 土に生きる

部原 小松 羽奈子

はぎ、ききょう、山ゆりが自然の中に咲きし山里に来て、早二年が過ぎました。

他地へ来て心きみしい私をなごませてくれたこの花々、みだれ咲くはぎの一枝にも心なごむ思いでした。

九十歳になった主人の母もみとり、やっと後をふり返るとき、留守がちの玄関先に黒々とした土のついた大根、白菜、なす、きゅうり等々いろいろな顔が私を迎えてくれました。近隣の人たちが置いていつてくださった心遣いがありがたく、ざっそく包丁を入れるとパリッと心地良い響き、サクサクとした歯ざわり、それぞれ野菜の持つ香りがこんなに多種あり、ヒタミンの豊富なすばらしいものだ

大会

▼男子の部 八郷クラブ
▼女子の部 小幡フレッシユママさん

◎町民卓球大会

▼男子シングルス 浦野善久
▼女子シングルス 井川菊枝
▼混合ダブルス 荒井実・井川菊枝組

は……。スーバーでのきれいに着飾った品物を買う生活に慣れてしまった私には、久しく忘れていた新鮮な香りだったのです。わが家でもそれにあやかっ

て、自作を試みました。そつと畑を耕しておいてくださ

った方、野菜の苗をたくさん持つてきてくださった方たちの励ましに支えられて、少しながらも生々とした野菜に目にかかれる昨今です。また、新米が取れたので……といった新米を、ざっそく栗ごはんにして食べると、ふわつとした歯ごたえのある味が心に残ります。

この大地の恵みの中でこそ生まれるこの味を、その環境の中で生活している人たちに、それがあたりまえとしか感じられないことでしょう。

農業離れして行く若者に再認識してほしいのです。黒々とした土作りの中に、人間の原動力となる食物を作り上げることの誇りとすばらしさを。

私も、この地に来たからには、一日も早く八郷町を

愛することに努力しよう、まず土台となる土に親しみ、この町を知らなくてはと、息子、娘と名所旧跡を訪ね歩き、いろいろな出会いも、この町の姿にも多少ふれることができました。

人口約二万九千の住民の中に溶け込み、一千年近くも大木となる町の木「しい」を仰ぎ、清楚な町の花「ゆり」を心に写し、人々の出会いを大事にしていきたいと思ひます。「秋ふかくおしみてなをも 行く山路木の間がくれの 夕日一枝」

柿岡荒宿区で大運動会

十月二十日、柿岡荒宿区の



区民大運動会が、柿岡小学校グラウンドで開かれました。

区民全員が一堂に集まり、親睦を深めようとい行われているこの運動会も、ことしで十回目ということです。運動会には、区内のほとんどの家庭から参加者があり、子供からお年寄りまで、いろいろな競技を楽しみました。

また、お昼には、各自が用意した弁当を食べながらカラオケ大会も行われるなど、運動会の目的である親睦を大いに深めたようです。

おばけかぼちゃ登場

役場住民課窓口に、33キログラムもある、おばけかぼちゃが出現し、窓口を訪ずれる人の目を引いています。

このかぼちゃは、柿岡の高橋利久さんが牛の飼料用に栽培したもので、元来大きく育つ種類ですが、その中でも特に大きくなったものを寄贈してくれたものです。



成人病の予防は食事から

町では、食生活改善事業として、現在約120名の方々が、食生活改善推進員として活躍しています。

町の死亡状況を見ると、約7割が成人病（脳卒中、心臓病、がん等）で亡くなっていますが、成人病は正しい食生活によって、相当の予防ができます。

食生活改善推進員の皆さんは、健康キャンペーンや文化祭の催しの際などに、成人病食の試食指導などを行い、地域住民の健康増進のため活動しています。

写真は、去る9月26日、小桜地区公民館で行われた健康キャンペーン時の、成人病食指導。



4歳児の体力はどんなかな？

町健康問題研究会では、昨年から各専門家により、さまざまな角度からの健康調査を行っています。

その中のひとつとして、町の四歳児を対象とした体力テストを、各保育所で行いました。立幅踏みや両足連続踏越し、ソフトボール投げなどに、子どもたちは、真剣に挑戦していました。



町民ゴルフに200名が参加

九月九日、約二百名が参加して、町民ゴルフ大会が東筑波カントリークラブで行われました。結果は次のとおりです。A組（35歳以下）ネット優勝中田隆男、グロス一位斉藤博史、B組（36歳～45歳）ネット優勝土佐宏幸、グロス一位松田和夫、C組（46歳以上）ネット優勝矢口昭、グロス一位田上善敏

なお、同大会の賞品獲得者の皆さんから十二万四千五百円が、町社会福祉協議会へ寄付されました。

カゼ知らずの毎日を



寒さの到来とともに増えるのがカゼ患者。頭痛、発熱、クシャミ、鼻づまりなど、カゼの症状を訴えて、病院の待合室が混雑し始めるのもこのころです。学校や保育所など集団生活の場では、インフルエンザの予防注射を開始します。

カゼは万病のもと。いやな思いをしないためには何よりもカゼをひかない工夫が大切です。寝不足のとき、残業や徹夜マージャンで疲れているとき、混雑しているデパートなどへ出かけ、帰って来て体がブルツと感じたなど、もう一度個々にチェックしてみると、ひかないで済んでいたかもしれないと思うことがあります。

どうしたらカゼ知らずの毎日を過ごせるでしょうか。

①偏食をするな

朝食抜きやインスタント食品はいけません。自分の頭で考え、何でも食べるようにしましょう。鼻やのどの粘膜を強くするため、ビタミン類を多くとりましょう。

②十分に睡眠をとれ

きょうの疲れを明日に持ち越さないようにしましょう。

③体を鍛えよ

運動不足や肥満予防を兼ねて、寒さに立ち向かう強い体をつくりましょう。

④厚着をするな

⑤うがい忘れず

外出から帰ったら忘れずにうがいをしましょう。

⑥二時間に一回は換気を

室温二〇度、湿度五〇～七〇パーセントに保てるよう、換気に心がけましょう。

カゼをひいてしまったら

①安静第一

スタミナのある食事をとり暖かくして寝ていきましょう。

②汗を出そう

③タバコはやめよう

④薬の乱用は避け病院へ

以上の点に気をつけ、今年の冬も楽しく過ごしましょう。

八郷今昔 ⑪

写真右は、昭和34年12月12日に行われた「八郷一周駅伝競走」優勝は、中学生の部が柿岡中Aチーム、青年の部が園部チームでした。



写真左は、今年1月24日に行われた町民マラソン大会。

◎ありがとう

- 町内全保育所へ風せん二千個 小幡 上田佳幸
- 小幡保育所へ手づくりくす玉 小幡 鬼澤松枝
- 瓦会小学校へぞうきん八十枚、竹ぼうき五本 瓦会地区老人会
- 同小学校へぞうきん百枚 宇治会 土田たい
- 同小学校へチャボ二つがい 小幡 比気修一

小幡の桜井さんがほつ賞 柿岡の斉藤さんが善行表彰

大字小幡の桜井太郎平（46歳）さんが、このほど青少年相談員ほう賞を受賞しました。

このほう賞は、青少年の健全育成、非行防止に顕著な功績のあった青少年相談員の方に、県知事から贈られるものです。桜井さんは、昭和四十三年から青少年相談員として



桜井さん



斉藤さん

日夜活躍、環境浄化に努めておられます。また、大字柿岡の斉藤重夫（50歳）さんが、社団法人日本善行会が行っている、成人

善行表彰を受賞しました。斉藤さんは、町老人大学が結成（昭和三十七年）されて以来、卒業生全員に卒業式の記念写真を贈り続けており、この功績が認められ今回の受賞となったものです。なお、同大学の卒業生は、現在までに四十四期千九百六十名を数えています。

今日は脱穀秋晴れ日和孫も手伝う薬運び
老いぬつもりも片付け忘れ果てなほてなと探し物
小さい善意の輪が拡がって街は福祉の赤い羽根

東成井 石井好三
真家 川崎夫久
下林 白田正源

俳句 大木嶺月選

万博のあらしのあとや草紅葉
筑波路や科学万博秋去りぬ
秋日和名残りは惜しや科学博

中戸 本橋由美子
瓦谷 中島れい子
野田 小松芳女

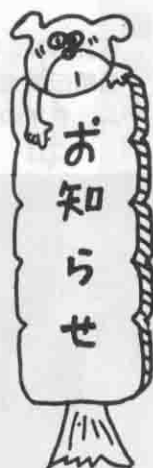
俳句 大岡昇山選

台風一過澄み極まりし秋空に夕べとなれば月の満ちけり
病む母を看とる夜更けてこおろぎの声細々と身に泌みてくる
稚苗より苦勞せし菊大輪にならむ蕾の日毎膨らむ

東成井 石井好三

短歌 吉田次郎選





「オアシス運動」 作文募集案内

町教育委員会では、より明るく、和やかに声をかけ合い潤いのある家庭や地域づくりを進めるため、「オアシス運動」を展開しています。

オ おはようございます

ア ありがとうございます

シ しつれいします

ス すみません

これらのあいさつに関する体験事例、意見および提言な

どを次により募集します。ぜひご応募ください。

▼応募方法

四百字詰原稿用紙(縦書き)

三枚以内で、原稿のはじめに題名、氏名、住所、年齢(児童生徒は学校名、学年氏名)を記入してください。

▼応募資格

八郷町に住所を有する方、または通勤通学している方。

▼応募先

八郷町大字柿岡二七七〇、教育委員会社会教育課内オアシス係(児童生徒は各学校を通してください)。

わがやのついでに



藤岡 毅ちゃん (太田)

父 吉郎さん 母 なつ子さん
昭和58年11月1日生まれ(長男)
家族からの一言 テレビと本が大好きです。特に音楽に合わせて踊りを踊っては、家族を楽しませてくれます。

心身ともに健康な人になってほしいです。

▼応募締切り

昭和六十一年一月十日

▼入選発表

本紙三月号紙上

年末資金のご準備 は国民金融公庫で

国民金融公庫では、年末資金のご相談を受け付けております。次のような資金にお役立てください。

●年末商戦に備えて、商品仕入資金に ●支払手形や買掛金の決済資金に ●ボーナスや諸経費の支払資金に

＜融資の条件＞

▼融資額

二千五百万円以内(特定の使途にかかる設備資金は三千五百万円以内)

▼融資期間

運転資金 五年以内
設備資金 十年以内
(特定の使途にかかる設備資金は十三年以内)

▼利率

11・12月の納税

11月 国民年金 第3期
12月 固定資産税 第3期
国保税 第5期

◎訂正

広報やさと十月号の二、三ページに掲載しました「クラブ紹介」の中で、町体育協会登録団体の表中に硬式庭球代表小柳理正さんとありましたが原田朗さん(地

年七パーセント

※詳しくは、土浦市中央一丁目一番二六号(日本生命土浦ビル)国民金融公庫土浦支店融資相談係(☎〇二九八二二四一四一)へ。

育英ローンの案内

財団法人・茨城県勤労者育英基金の育英ローンをご利用ください。

▼融資対象

大学、短大、専門学校、高校、私立中学等へ入(在)学するお子さんをお持ちの事業所等で働く勤労者の皆さん。

▼融資限度額

三百万円(労働組合のない事業所に働く勤労者は一人百万円、一世帯二百万円)

▼返済期間

在学中元金据置(四年以内)利息のみ月払い、卒業後五年

磁気観測所内(三一一五二)の誤りです。

また、八郷クラブの練習場所が柿岡小学校体育館とありましたが、土曜日の練習は八郷高校体育館で行っています。訂正しておわび申し上げます。

以内元利均等月賦返済

▼利率

年七・四四パーセント

▼申込先

1、労働組合のある事業所に勤務の方 所属労働組合または茨城県労働金庫本支店
2、労働組合のない事業所に勤務の方 茨城県労働金庫本支店

※詳しくは役場開発課商工観光係(☎内線五六)または、茨城県労働金庫石岡支店(☎〇二九九二一三七五五七)へ。

八郷町の火災・救急出動件数 (昭和60年中)

		9月中	累計
火災	物野他計	0件	5件
	建林	0	5
	その他	0	6
	合計	0	16
救急	病通他計	16件	185件
	急交	12	140
	その他	10	81
	合計	38	406